ギャンブラー（1971）

McCABE & MRS. MILLER

メディア 映画
ジャンル アクション
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 122分
初公開日 1972/04/08
公開情報 ＷＢ

【キャッチコピー】
俺の勝ち目は１５に１つ！ガンと度胸でぶちのめす！男一代の大ギャンブル！
〈俺たちに明日はない〉のウォーレン・ビーティと〈マッシュ〉の監督ロバート・アルトマンが　がっぷり四つに組んだ新機軸のブラックアクション！

【解説】
　カメラはＶ・ジグモンド。あのモヤったような独特の画調に、Ｌ・コーエンのもの悲しい歌声が被さって展開する、開拓期のアメリカへのＲ・アルトマン流挽歌だ。いいとか悪いとかを抜きにして、この作品を好きになってしまう人はきっと多いはず。「ボウイ＆キーチ」なども同様だが、何ともいえない詩情がある。美しくも気高くもないが、何かアメリカそのものに包まれる感触と言ったらよいか。一人の賭博師が雪深い北西部の鉱山町に流れて、坑夫相手の女郎屋の建設を始める。そこへ女たちを引き連れたミラー夫人（クリスティー）が共同経営の話を持ちかける。海千山千の夫人に彼マケイブ（ビーティ）は気圧されて、その提案をのむ。店には風呂もついてシックな雰囲気が好評を得る。と、この地に新たな鉱脈があるとの表立った理由で、町の発展を見込んだ不動産業者が店の買収の交渉に来た。マケイブとしては博奕打ちの魂が疼き、最初の向こうの言い値で充分なのを、更に欲を出してハッタリをかますと、先方は即、殺し屋を差し向けた。寝首をかかれてはたまらないと、そのさして強そうにも見えない殺し屋たちに、自分から再交渉を持ちかけても、最早買い叩かれる側で、やむなく決闘に臨むマケイブは教会に逃げ込んで初めから戦意喪失。ところが牧師に追い出され、逆に牧師が殺し屋に撃たれ、持っていたランプから出火し教会は炎上する。続く、町総出の消火活動の騒ぎと交錯して描かれる、深々と降る雪の中のおよそ活劇らしくない撃ち合いがアルトマン演出の真骨頂で、異様な迫力がある。敵は皆倒すが自分も深手を負ったマケイブは雪の中埋もれるようにして死んでいく。その中に一片のヒロイズムもない厳しさ。彼は愛する夫人を最後まで金で買い続けた小心者だった。女たちと遊びまくり、呆気なく殺される気の好いカウボーイ役でＫ・キャラダインがわずかな出番ながら鮮烈な印象を残す。

【クレジット】

監督	ロバート・アルトマン	Robert Altman
製作	デヴィッド・フォスター	David Foster
	ミッチェル・ブロワー	Mitchell Brower
原作	エドマンド・ノートン	
脚本	ロバート・アルトマン	Robert Altman
	ブライアン・マッケイ	
撮影	ヴィルモス・ジグモンド	Vilmos Zsigmond
音楽	レナード・コーエン	Leonard Cohen
出演	ウォーレン・ベイティ	Warren Beatty
	ジュリー・クリスティ	Julie Christie
	ジョン・シャック	John Schuck

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

キース・キャラダイン	Keith Carradine
シェリー・デュヴァル	Shelley Duvall
バート・レムゼン	Bert Remsen
ルネ・オーベルジョノワ	Rene Auberjonois
ウィリアム・ディヴェイン	William Devane

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.